

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・11月号・付録
2016年11月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・音 好宏

セミナー満員御礼 第54回ギャラクシー賞上期募集

— 9月理事会報告 —

2016年9月29日、9月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

- ◇出版事業委員会 鈴木副委員長
- ・11月号特集は「リオから東京! どうするテレビ?」。東京オリンドンピックを見据えた放送の状況、報道の役割などの視点をとらえた内容になった。表紙は要潤さん。ザ・パースンはさだまさしさん。
- ・12月号は「障害者とテレビ放送」。相模原事件報道、「バリバラ」感動ポルノの問題提起、リオパラリンピックの3つのテーマに基づいた企画を進行中。
- ・1月号は「第54回上期ギャラクシー賞」、2月号は音楽番組を取り扱う予定。
- ・新メンバーとして渡邊悟さんを承認した。

◇選奨事業委員会 稗田委員長

〈テレビ委員会〉 出田委員長

- ・8月1日に7月度の月評会を開催して、「福島県南相馬市」原発バス避難 試練の2週間」(NHK)、「『とと姉ちゃん』と、あの雑誌」(NHK)、NHKスペシャル「未解決事件File:05 ロックード事件」(NHK)、「かたらかぶ」(NHK)の4本を選んだ。
- ・8月26日に8月度の月評会を開催して、はに丸ジャーナル「リオ五輪直前スペシャル」(NHK)、「時をかける少女」(日本テレビ)、NHKスペシャル「ある文民警察官の死」カンボジアPKO 23年目の告白」(NHK)、報道の魂SP「米軍が最も恐れた男」あなたにはカメジローを知っていますか?」(TBSテレビ)の4本を選んだ。

- ・第54回上期ギャラクシー賞、4月1日〜8月31日放送分は、100本の応募があった。現在視聴作業中。
- ・新メンバーとして、鈴木誠一郎さん、藤岡美玲さんを承認した。
- 〈ラジオ委員会〉 橋本委員長
- ・8月22日の定例会ではFM福島、FM仙台。9月27日は北海道放送、STVラジオの、いずれも生ワイド番組を聴取した。
- ・「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会 VOI・22」を11月6日(日) TOKYO FMで開催予定。
- 〈CM委員会〉 稗田委員長
- ・8月24日に定例会を開催し、28本のCMについて話し合った。その中で静岡新聞「超ドS 静岡兄弟篇」、J・COM「テレビよ変われ 登場篇」が好評だった。
- ・9月26日に定例会を開催し、同じく28本のCMを視聴。au「秋のトビラ・三太郎の出会い篇」、KINCHO「ゴンゴン 知りたくないかった篇」、SONY「プレ

イステーション PS4が新価格」などが好評だった。

・「第53回ギャラクシー賞CM入賞作品を見る会」を9月3日(土)オムニバス・ジャパン 赤坂ビデオセンターで開催した。参加者は関係者を含め40名。ギャラクシー賞応募促進のため、広告主、広告会社、制作会社の人に参加してもらうことが課題。

〈報道活動委員会〉 丹羽委員長

・10月下旬に上期ギャラクシー賞選考会を開催予定。

◇企画事業委員会 川喜田委員長

・「ラジオの可能性を真剣に考える2」新しいメディアとしての「ラジオ」を9月16日明治記念館で開催した。参加者は112名。

・収支は約13万円の黒字となった。
・アンケートによると、ラジオの今後、ネット広告、放送と通信、ソーシャルメディアなどのテーマを扱ってほしいという声があり、今後検討していく。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野理事

・Gメンバーサイトの宣伝活動として、放送ライブラリーにチラシを設置、NHK旧友会名簿に広告掲載

(12月刊行予定)、放送人の会メンバーへのアプローチを10月に実施予定。

・8月から正会員に対してGALACにマイベストTV賞投票用紙を同封。8月は6名、9月は5名が投票。

Gメンバーサイトで一度でも投票をしたことがある正会員は30名。依然として正会員の投票率が課題。

・Gメンバーのイベント参加として、ラジオを聴く会に1名、CMを見る会に3名(うち1名は欠席)を招待。

・学生を対象とした特別料金の価格設定はマイベストTV賞プロジェクトに一任することを承認。

・学生の勧誘のため、「メディアを専攻する学生を取り込んだイベント企画」「ワークショップの開催」などの提案があり意見が交わされた。

・入会者の減少傾向や、最初の半入会者の期限切れが近づいていることを考慮し、営業活動を強化していく。

2. その他

①入会

維持会員 電通クリエイティブX
正会員 鈴木誠一郎さん、藤岡美玲さん、渡邊悟さん

①Tokyo Docs 2016後援の

件

11月7日～10日にJA共済ビルカ

ンファレンスホールで行われるTokyo Docs 2016の後援を承認。

②日韓中テレビ制作者フォーラム中国大会の変更について

10月13日～16日に中国・長沙で開催予定だったが、10月21日～25日北京での開催に変更となった。

③「ザ・ベストテレビ」「ザ・ベストラジオ」オンエアについて

・「ザ・ベストテレビ」は9月25日、26日に第53回ギャラクシー賞テレビ部門大賞作品「報道ステーション」(テレビ朝日)を放送。

・「ザ・ベストラジオ」は10月22日に同ラジオ部門大賞作品「憲法で巡る日本の旅」(九州朝日放送)が放送される。

④マイナンバー対応について

・マイナンバー制度が始まり、税務署に提出する支払調書にマイナンバーの記載が必要となることから、対応について討議した。

・返送用のレターパックを同封する
か検討。同封する場合、7～10万円の費用が見込まれる。

・10月理事会で対応についての最終

的な確認を行う。

⑤ギャラクシー賞エントリーシステム稼働について

・今期、第54回からエントリーシステムを電子化。

・9月5日のテレビ部門一次締め切りの応募数からは、電子化による減少傾向は見られなかった。

・選考活動に電子化を導入するのはテレビ部門のみとなる。

⑥正会員名簿について

8月理事会で正会員名簿の冊子形式での作成は見送ることを決定。名簿を希望する正会員にはプリントして郵送する。

次回以降の理事会

10月27日(木) 18時半～

11月30日(水) 18時半～

12月15日(木) 18時～

【出席】音好宏、橋本隆、藤久ミネ、川喜田尚、丹羽美之、稗田政憲、出

田幸彦、滝野俊一、入江たのし、岩

根彰子、茅原良平、五井千鶴子、上

滝徹也、坂本衛、桜井聖子、嶋田親

一、鈴木健司、鈴木嘉一、山田健太、

中島好登

Gメンバーサイト

マイベストTV賞投票受付中!

ギャラクシー賞マイベストTV賞

2016年度9月度の投票が始まりました。

皆さまの投票、コメントをお待ちしております!

投票はこちらから

<https://www.houkon.club/>



会議記録

〔8月〕

1日

(選奨) テレビ月評会
(選奨) ラジオ定例部会

22日

出版編集委員会
(選奨) CM定例部会

24日

企画事業委員会
(選奨) テレビ月評会

26日

(選奨) CM定例部会
(選奨) ラジオ定例部会

27日

理事会

29日

〔9月〕

「正会員名簿」についての

お知らせ

放送批評懇談会ではこれまで、正会員の住所等連絡先を記載した冊子「正会員名簿」を作成し、正会員に提供してまいりましたが、個人情報意識の高まりを受け、冊子作成および一斉配布を見送ることといたしました。ご理解いただければ幸いです。

正会員一覧の閲覧は、放送批評懇談会ホームページをご利用いただければ幸いです。 <http://www.houkon.jp>

個々の正会員の連絡先などの情報は、事務局にお問い合わせいただければ幸いです。また、プリントした名簿をご希望の正会員の方には、個別に郵送でお届けいたします。事務局にご請求ください。

名簿に記載する情報は、「正会員名簿回答書」(名簿更新時、入会時に実施)で掲載許可をいただいたものに限り、変更のある方は、事務局にお知らせいただければ幸いです。

「生涯一記者」でいきます

岩城浩幸

3月末、TBS報道局を定年退職しました。38年間、報道局で過ごし、最後の作品は「70年目の島守」生き続ける「最後の沖縄県知事」、1時間のドキュメンタリーでした。社会部に始まり、報道特集記者、政治部選挙本部、北京特派員、外信部長、報道特集キャスター、取材センター長、解説専門記者室長、そして主席解説委員……見てきた現場は実に多種多様でした。

また、大学でジャーナリズムを語り、永六輔さんのラジオ番組でニュース解説を担当したことで、ひとつひとつの言葉の大切さを噛みしめました。「大艦巨砲」でなく、少数で番組を作る経験もしました。

4月から、半世紀続く隔月刊情報誌の編集長になったところ、音好宏先生からの「ご下命」で、批評される側からする側に一転することになりました。これは大変、立場逆転！どんなに小さなことでも、記録として確実に残すべきものに、目を向け続けたいと思います。

新入正会員自己紹介

築地広告→神南放送→ナニワ大学

大野茂

通天閣は大阪のシンボルだが、私は初めて見たときから、拭いきれぬ違和感をずっと持ち続けてきた。その理由は、ど真ん中に燦然と輝く「HITACHI」のネオンサインだ。日立製作所は、われらが関東の会社である。逆に浅草雷門の大提灯に「松下電器」の社名がデカデカと入っているのをご存知だろうか？これまた奇妙で仕方がなかった。

この東西の象徴的建造物におけるスポンサー逆転現象への不満は、私の内で長年くすぶっていた。その想いは、電通に入って「観光名所の広告」は、地元の有力企業がするもの」という鉄則を知ってさらに強くなった。NHKに転職して、番組でこの経緯についての取材企画を出したら即座に却下された。当たり前だった。2年前、私は大阪で大学教授になった。いの一歩に通天閣のふもとに赴き、看板を見上げてハタと気づいた。関東モンが関西で無くてはならぬ存在になつて。俺も日立の看板になろうと心に決めた瞬間である。

新入正会員自己紹介

メディア各業界の「渡り鳥」です

松崎泰弘

主に経済記者・編集者として各媒体を渡り歩いてきました。ラジオを皮切りにテレビ、出版……。新聞社へ出向したこともあります。

ミレニアム転職で現在勤務する東洋経済新報社へ入社。金融・資本市場の取材経験を長く積みました。放送業界などもウオッチし、雑誌編集にも携わりました。今はオンライン関連の業務がメインですが、活字の仕事にも引き続きかかわっています。入会にあたってお誘いいただいた川喜田尚さんからのお声掛けで、2年前からは大正大学の非常勤講師として二足のわらじを履いています。メディアの各業界に対する浅薄な知識を披露する場を頂戴しました。

講義で何度か触れたテーマが「経済報道」。テレビ時代には「絵にならない」、「抽象的かつ理屈っぽい」などの指摘を頻繁に耳にしました。どうすれば、テレビ報道でも経済ニュースが「市民権」を得るのか。こうしたお話しを皆様とさせていたいただくことができると思っております。